

# ミライの議員・議会のために

～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～

- バックキャストでミライの議会・議員の姿を展望！
- 議員のなり手不足解消とコミュニティ自治の行方は？
- 議会は住民自治のプラットフォームだ！

## 開催趣旨

北海道栗山町議会による議会基本条例の制定(2006年)から17年余りが経過しました。議会改革は第2ステージに入ったと言われますが、形式的な改革から実質的な改革への歩みはまだ本格的なものになっていません。2023年統一地方選においても議員選の投票率の低下、無投票率の増加に歯止めがかからず、一部では女性議員が増えたものの、町村を中心に議員のなり手不足はより深刻化・クローズアップされました。

(公財)日本生産性本部では、「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」(座長＝江藤俊昭・大正大学教授)を設け、「地方議会成熟度評価モデル」を開発するとともに、評価の実装化を通じて地方議会におけるさらなる住民福祉の向上を支援してきました。成熟度評価では「議会からの政策サイクル」の確立が前提となると同時に、「バックキャスト」でミライの議会・議員のありたい姿を展望することで、これから本格化する人口減少社会に議会・議員がいかに適応していくかを考えてきました。

本セミナーでは、議員のなり手とも密接にかかわるコミュニティのあり方とともに、ミライの地方議会・議員の姿を展望します。

**会場** 全国町村会館 2階ホール  
(東京都千代田区永田町1-11-35)

**対象** 地方議会の議員、議会事務局の職員  
他

**定員** 100名(会場定員、先着順)  
※オンライン配信は行いません。

## 登壇者

コーディネーター:千葉茂明(日本生産性本部上席研究員)

2024年2月4日(日)  
13:30～17:30

お申込みは  
こちら



**参加費** 議員 11,000円  
議会事務局職員・市民等 5,500円  
※いずれも税込



大正大学  
社会共生物学部教授  
**江藤 俊昭** 氏

えとう・としあき 1956年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程満期退学。博士(政治学)。マニフェスト大賞審査委員、(公財)日本生産性本部「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」座長、第29次・第30次地方制度調査会委員などを歴任。『議会改革の第2ステージ』『自治体議会学』『地方議会改革』議員のなり手不足問題の深刻化を乗り越えて『非常事態・緊急事態と議会・議員』など著書多数。



東京都立大学  
法学部教授  
**大杉 覚** 氏

おおすぎ・さとる 1964年横浜市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門分野は、行政学、地方自治論。東京都立大学法学部助教授を経て、2005年から現職。総務省地域づくり人材の養成に関する研究会座長などをはじめ、国・自治体の審議会等委員を歴任。著書に、『コミュニティ自治の未来図』これからの地方自治の教科書 改訂版』など。



兵庫県西脇市議会  
議長  
**林 晴信** 氏

はやし・はるのぶ 1967年西脇市生まれ。甲南大学経済学部卒業。1996年、28歳で西脇市議会議員初当選(以降8期連続当選)。第9代、第11代、第13代議長。議長就任以降、西脇市議会を早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度ランキング全国1位(2018年度)、日経グローバル議会活力度ランキング全国1位(2019年度)に導く。「議会は住民の中にある」「議会は住民自治のプラットフォーム」を掲げ、議会活動の傍ら、全国の自治体議会議員に研修講演等を精力的に行う。  
※登壇者の肩書きは2023年11月5日時点

## プログラム

| 時間    | 内容   |
|-------|--|
| 13:30 | 開会、趣旨説明<br>公益財団法人日本生産性本部   |
| 13:40 | 講演<br>「ミライを展望した地方議会の政策サイクル」<br>江藤 俊昭 大正大学社会共生学部教授  |
| 14:30 | 講演<br>「コミュニティ自治とミライの議会」<br>大杉 覚 東京都立大学法学部教授  |
| 15:20 | 実践報告 [兵庫県西脇市議会]<br>「議会は住民自治のプラットフォーム」<br>林 晴信 兵庫県西脇市議会議長   |
| 16:10 | 休憩・質疑整理(10分間)  |
| 16:20 | パネルディスカッション<br>「ミライの議会・議員のためにイマの議会・議員に求められるもの」<br>パネリスト 江藤 俊昭氏 大杉 覚氏 林 晴信氏<br>コーディネーター 千葉 茂明 (日本生産性本部) |
| 17:20 | 「政策サイクル推進地方議会フォーラム」のご案内<br>地方議会改革プロジェクト事務局   |
| 17:30 | 閉会挨拶、閉会  |

※ 上記プログラムは企画段階のものであり、やむを得ず変更となる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

## 「政策サイクル推進地方議会フォーラム」について

日本生産性本部では、地方議会の議員、議会事務局職員、学識者等をメンバーとして、2016年より「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」を開催し、地方議会の政策サイクルに関する検討とその起点となる議会運営の現状把握(評価)のしくみづくりに取り組んできました。

2018年には政策サイクル事例を紹介する「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会報告書」を刊行し、2020年には先進的な事例から抽出した要素とともに組織体の運営(マネジメント)の観点も踏まえた議会運営の評価基準として、「地方議会成熟度評価モデル」を公表しました。

そして、2022年には研究会を発展させる形で「政策サイクル推進地方議会フォーラム」を立ち上げました。このフォーラムは、「住民福祉の向上」を目指した議会活動のあり方を模索する皆さまが集い、対話し、政策サイクルの構築と作動に向けた方策を共に探る場とすることを目指しています。

「政策サイクル」を軸にした地方議会の活動の充実に関心のある皆さまのご参画を心よりお待ちしております。

## お申込み要領

[専用フォーム](#)よりお申込みいただくか、必要事項を明記の上、ファックスまたはメールにてお送りください。先着順にて受付いたします。  
開催のご案内と請求書は開催の1週間前(1/28)を目途に送付いたします。

## キャンセル料について

お申込み後、開催7営業日前から下記キャンセル料が発生します。予めご了承ください。

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 【開催7営業日前～4営業日前】 | 参加費の30%  |
| 【開催3営業日前～1営業日前】 | 参加費の50%  |
| 【開催当日】          | 参加費の100% |

## お問合せ



地方議会改革プロジェクト事務局(担当:鎌田・田中)

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 (公益財団法人日本生産性本部)

**Web** <https://www.jpc-net.jp/consulting/mc/pi/local-government/parliament.html>

**Facebook** <https://www.facebook.com/PDDDC/>

**Mail** [gikai@jpc-net.jp](mailto:gikai@jpc-net.jp)

**Tel** 03-3511-4013

**Fax** 03-3511-4039